



共通第11号様式 (第17条第1項)

平成27年度 補助事業等実績報告書

平成28年4月28日

函館市長 工藤 壽樹 様

住 所 函館市神山3丁目56番2号

補助事業者等 団 体 名 函館市連合遺族会

代表者氏名 会 長 浜 野 幸

補助事業等の名称 函館市連合遺族会運営事業

平成27年7月29日函福管をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、平成28年3月31日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額	金575,000円
補助金等領収済額	金575,000円
補助金等領収未済額	金 0円

補助事業等の実績書

申請者の概要	設立年月日 昭和25年4月1日
	構 成 員 202名 (平成29年3月31日)
	営む主な事業 戦没者英霊の顕彰 戦没者遺族援護事業 (処遇改善運動の推進)
補助事業等の内容	1 戦没者英霊顕彰と追悼式 (1) 招魂英霊1万3千余柱の追悼式の参列 5/11 (2) 旧陸, 海軍墓地の追悼式の実施 7/7 (3) 戦没者を追悼し平和祈願祭の実施 8/15 (4) 湯川, 戸井, 恵山, 南茅部地区の戦没者追悼式の実施および参列 (5) 北海道, 函館市戦没者追悼式に参列 2 遺族処遇改善運動として北海道遺族大会 (旭川) への参加 3 全道女性部研修会への参加
補助事業等の実施による効果	戦後, 遺族達は幾多の苦難の道を歩み, 既に半世紀余が過ぎ, 高齢化が進むなかで当時の語り部達も減少の一途を辿っています。 その一方で国難に殉じた戦没者に対する尊崇の心が忘れつつあることは誠に残念であり, 遺族会として, 尊い戦没者を無にすることなく, 英霊顕彰事業を強力に実施した。 また, 遺族の処遇改善運動 (遺族大会を始め役員研修等) 或いは, 各関係行事等にも積極的に参加し意識の高揚を図ることができた。 /
備 考	

補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
補助金	725,000	725,000	725,000	725,000	0	0	相馬報恩会
函館市補助金	575,000	575,000	575,000	575,000	0	0	
その他補助金	150,000	150,000	150,000	150,000	0	0	
会費	376,000	376,000	380,000	380,000	4,000	4,000	
雑収入	203,000	178,000	257,211	172,201	54,211	△ 5,799	参加者負担金等
繰越金	57,000	57,000	57,816	57,816	816	816	前年度繰越金
合 計	1,361,000	1,336,000	1,420,027	1,335,017	59,027	△ 983	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
事務費	191,000	166,000	143,864	123,284	47,136	42,716	通信費，印刷費， 慶弔費等
会議費	148,000	148,000	134,266	134,266	13,734	13,734	総会，役員会等
事業費	783,000	783,000	857,916	857,916	△ 74,916	△ 74,916	慰霊祭費，研修費等
負担金	202,000	202,000	219,551	219,551	△ 17,551	△ 17,551	上部団体会費等
予備費	37,000	37,000	0	0	37,000	37,000	
合 計	1,361,000	1,336,000	1,355,597	1,335,017	5,403	983	

※収支差引額 64,430円 (次年度繰越)

- (注) 1. この様式は，補助金等の交付を申請し，または，これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は，詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は，申請の場合「千円」，実績報告の場合「円」とすること。
 4. 内訳には，金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認められた書類を添付すること。